



企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力) ガンリキ

設定日 2016年2月29日 決算日 原則 2月20日および8月20日

2017年4月28日現在

基準価額の推移(2016年2月29日 ~ 2017年4月28日)

(設定日前日を10,000としております)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

資産構成

内訳	4月末	3月末
企業価値成長小型株マザーファンド	99.6 %	99.6 %
その他資産	0.4 %	0.4 %
純資産	1,219 百万円	1,096 百万円
元本	1,044 百万円	939 百万円

実質組入比率

内訳	4月末	3月末
国内株式	96.3 %	97.9 %

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

4月末	前月比	3月末
11,674 円	0.0 %	11,669 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

1か月	0.0 %
3か月	7.4 %
6か月	17.8 %
1年	21.9 %
3年	— %
5年	— %
設定来	29.0 %

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

2017年2月	1,170 円
2016年8月	0 円
—	— 円
—	— 円
—	— 円
—	— 円
設定来合計	1,170 円

- ・当ファンドはマザーファンドを通して運用を行っております。
- ・比率および構成比は、マザーファンドの比率および構成比を当ファンドベースに換算した実質比率です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力)<sup>ガンリキ</sup>

2017年4月28日現在

国内株式実質組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

※あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

コード	銘柄名	比率	ファンドマネージャーのコメント
1	6908 イリソ電子工業	3.4%	自動車のエレクトロニクス化の進展を背景に、自動車向け電子部品を強化している。
2	1377 サカタのタネ	3.2%	新興国を中心に野菜の種子の需要が拡大。新興国では生活水準の高まりを背景に、高品質な食材への需要が高まっていくと期待。
3	7613 シークス	3.0%	電子機器製造受託サービス(EMS)企業。部品調達にも強み。自動車のエレクトロニクス化の進展を背景に、電気機器産業向けで培った強みで自動車分野の成長に期待。
4	2146 UTグループ	3.0%	製造業向け正社員派遣業で強み。エレクトロニクス業界で需要変動が大きくなっていることが派遣ニーズに繋がっている。キャリアカウンセリングや職業訓練などの人材育成も強み。
5	7747 朝日インテック	2.9%	カテーテル治療に使用するPTCAガイドワイヤーに強み。シェア拡大と患者の体力的な負担が少ないカテーテル治療の普及で成長を期待。関連領域での新製品の成長にも期待。
6	7839 SHOEI	2.9%	高級ヘルメットで高いブランド力を誇る世界的企業。中国などの新興市場での成長に注目。
7	6810 日立マクセル	2.9%	成長を目指して構造改革中。車載カメラ部品など成長性が高い自動車向け部材やエスエ家電の拡大に注目。
8	6324 ハーモニック・ドライブ・システムズ	2.8%	産業用ロボットなどに使われる部品に強みがある。中国の産業高度化やロボットの用途拡大などが追い風になると期待。
9	8920 東祥	2.7%	大人の健康づくりをテーマにしたスポーツジム“ホリデイ”を運営。健康志向が高まるなか、採算性の高いビジネスモデルで成長を期待。訪日観光客の増加が追い風となるホテル事業も運営。
10	9416 ビジョン	2.7%	スマートフォンによる屋外での情報収集が当たり前になるなか、海外出張や旅行先でもインターネット利用を可能にするグローバルWi-Fi事業に注目。
組入上位10銘柄実質比率合計		29.6%	
株式組入銘柄数		58銘柄	

・比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ・比率は、小数第2位を四捨五入した数字で合計と合わない場合があります。



企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力) ガンリキ

2017年4月28日現在

国内株式実質組入上位10業種

業種名	構成比	業種名	構成比
1 サービス業	26.6%	6 小売業	4.9%
2 電気機器	15.7%	7 不動産業	4.0%
3 情報・通信業	12.4%	8 化学	3.8%
4 機械	9.7%	9 水産・農林業	3.4%
5 卸売業	5.6%	10 精密機器	3.0%
組入上位10業種実質構成比合計		89.1%	

- ・業種は、東証33業種分類です。
- ・構成比は、実質組入株式全体を100%とした割合です。
- ・構成比は、小数第2位を四捨五入した数字で合計と合わない場合があります。

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

月間の運用経過

国内株式市場は、北朝鮮問題などを受け軟調に推移しましたが、4月の中頃以降は北朝鮮問題の緊迫度が低下したこと、フランス大統領選挙への警戒感が後退したこと、米国の税制改革への期待が高まったことなどから上昇しました。TOPIXは月間で1.3%の上昇となりました。小型株市場は、TOPIX Smallが1.2%の上昇、ジャスダックインデックスが1.3%の下落となりました。

このような状況のなか、当ファンドでは企業価値成長小型株マザーファンドを高位に組み入れた運用を行いました。マザーファンドは0.3%の上昇となりました。

マザーファンドでの売買は、業績動向や株価指標、組入比率の調整などから11銘柄の売却を行う一方、41銘柄の買い付けを行いました。買い付けは、ITインフラ関連株、インターネット・サービス関連株などです。

マザーファンドにおける株式組入比率は96.6%となっています。

今後の運用方針

国内外の景気動向は全般的に堅調と考えています。為替動向も日米の金融政策の動向が円安圧力になると考えており、日本企業の業績にプラスになると考えています。ただし、米国政権の政策動向や地政学的リスクの影響には注意が必要と考えています。

日本の小型株は、中長期的に注目できる成長テーマがいくつもある状況と考えており、短期的なリスク警戒による株安局面は投資チャンスと考えています。円高一巡により成長力が表面化する外需関連や、内需関連の成長企業に注目したいと考えています。テクノロジーの進化(自動車IT化・電動化、ロボット・人工知能、半導体など)、ヘルスケア関連、社会の構造変化にマッチしたビジネス、米国の政策関連などに注目する方針です。

利益成長によるROEの水準や改善、業績動向、財務状況、バリュエーション、流動性、期待するリターンやリスクなどから投資銘柄や投資比率を決定しポートフォリオを運用していく方針です。

ファンドマネージャー 関口 智信

企業価値成長小型株ファンドガンリキ(愛称:眼力)

## 当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

## 投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
- 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託は、元本の保証はありません。
- 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 当資料はアセットマネジメントOneが作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。  
信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。

企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力)<sup>ガンリキ</sup>

当ファンドは、主として国内の株式にマザーファンドを通じてまたは直接投資します。実質的に組み入れた株式の値動きなどの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

## ファンドの特色

**1. 主として企業価値成長小型株マザーファンド(以下「マザーファンド」という場合があります。)を通じて、わが国の小型株に実質的に投資を行います。**

- ◆当ファンドの運用は「ファミリーファンド方式」で行います。
- ◆当ファンドおよびマザーファンドにおいては、わが国の各取引所の市場第一部または第二部に上場(上場予定を含む。以下同じ。)している小型株、ジャスダック、東証マザーズなどの新興市場に上場している株式を主要投資対象とします。
- ◆マザーファンドの組入比率については、原則として高位とすることを基本とします。  
※原則として、第一部上場の小型株については、取得時においてTOPIX SmallまたはRussell/Nomura Small Cap インデックスに属する銘柄とします。

**2. 小型株市場の中から、利益成長による将来のROE水準やその改善に着目し、企業価値の成長が見込める銘柄を選定することにより、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。**

- ◆銘柄選定にあたっては、利益成長による将来のROEの水準や改善に着目し、経営の健全性、株価投資指標(バリュエーション)の割安度、期待される投資収益率なども勘案して決定します。  
※ROE(株主資本利益率)とは、資本金などの株主資本を使っていかに効率的に利益をあげているかを表す指標です。  
※マザーファンドの組入銘柄数は約30~60銘柄としますが、投資環境や資産規模により、異なる可能性があります。
- ◆流動性、想定するリスク・リターンや投資シナリオの確度の高さなどを考慮し、個別銘柄の投資比率を調整します。
- ◆株式の組入比率は、上記の方法により選定される銘柄の数や各銘柄への投資比率により決定されます。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

**3. 原則として、年2回(毎年2月、8月の各月20日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。**

- ◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
  - ◆分配金額は、基準価額水準や市況動向などを勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
  - ◆原則として、分配前の基準価額が1万円を超えていた場合、超過額の2分の1程度を目処に分配原資の範囲内で分配します。  
※当ファンドの基準価額が運用期間中に必ず1万円以上になることを示唆、保証するものではありません。また、当ファンドは元本が保証されたものではありません。
  - ◆分配前の基準価額が1万円を超えていない場合、原則として分配は行いません。
- ◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## [収益分配金に関する留意事項]

- ◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◎投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。





企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力)<sup>ガンリキ</sup>

ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる可能性があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力) ガンリキ

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。 お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額(当ファンドの基準価額は1万口当たりで表示)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2026年2月20日まで(2016年2月29日設定)
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回った場合などには、繰上償還することがあります。
決算日	毎年2月、8月の各月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。 当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日の基準価額に、 <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 換金申込受付日の基準価額に対し <b>0.3%</b> を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 日々のファンドの純資産総額に <b>年率1.566%(税抜1.45%)</b> を乗じて得た額とします。
	その他の費用・手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認ください。  
◎購入のお申し込みの際は、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
ファンドの運用の指図などを行います。
- 受託会社: みずほ信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。
- 販売会社: 募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。



企業価値成長小型株ファンド(愛称:眼力)<sup>ガンリキ</sup>

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会
アーク証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1号	日本証券業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	日本証券業協会
永和証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
岡地証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
岡安証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第8号	日本証券業協会
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	日本証券業協会
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第6号	日本証券業協会
寿証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第7号	日本証券業協会
島大証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第6号	日本証券業協会
株式会社しん証券さかもと	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	日本証券業協会
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	日本証券業協会
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	日本証券業協会
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	日本証券業協会
フィリップ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号	日本証券業協会
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)